

# G3 のツイッター その 42

## 烈剛河内 竹井 保満

あちこちで、鎮守の神の祭り笛や太鼓の音が聞こえて来る今日この頃です。

私の氏神様は、備前岡山の福岡神社です。NHKの大河ドラマで名をはせた秀吉の知恵袋、黒田官兵衛と同じ村の出身です。今の福岡県の地名は、福埼でしたが、黒田官兵衛が着任して、黒田の出身地の名前の福岡に変えたのだそうです。

「酒は呑め呑め呑むならば、日の本一のこの槍を、呑み取るほどに呑むならば、これぞ誠の黒田武士」

日の本一のこの槍、正親町天皇から織田信長が拝領したのか、脅し取ったのかわかりませんが、権力者、何人もの手を経て福島正則に渡ります。黒田節の主人公、母里友信が、黒田長政の使者として福島正則に、謁見します。正則は労をねぎらい酒を勧めますが、母里友信はお役目の身とのことで固辞します。正則は面子もあり賭けにでます。飲み干せば所望するものを何でも遣わすと、母里友信は黒田藩でも、「フカ」の異名を持つでん武士でしたので、一気に呑み干し、日本号の槍を所望して手に入れました。

酒の美味しいと言われる季節になりました。酒仙の話、酒はいいものだ、実においしくて毒の中では一番いいものだ。酒はお茶の代わりには成るが、お茶は酒の代わりにはならぬ。下戸の私にはよく分かりませんが面白い表現です。

最近テレビ番組で、適量の酒とか、長寿にはどのくらい呑むといいとか、偉い先生方が教えてくれます。健康長寿の統計から見ると成人男性なら一日に清酒一合、ビールなら中瓶一本と「酒は百薬の長」は教えてくれます。しかし、待ったがかかりました。酒を飲まない人の中に病気の人や、医師からアルコールを禁止されている人も、酒を飲まない人の人数に入っていました。その方々を除いて統計を取ると、酒を飲まないの方が長寿である結果が出ました。確かに酒には、食欲増進・血行を良くし・ストレスを緩和させるなど効用は沢山ありますが、身体そのものには良くないようです。なぜなら、アルコールを飲むとすぐに肝臓にある脱水素酵素により、アセトアルデヒドと言う有毒の物質に分解され、肝臓に悪影響を与えます。

さて、「酒は百薬の長」なる言葉は何処から来たのでしょうか。酒は、お屠蘇に始まり（屠は殺す、蘇は鬼）、大晦日まで（おおつごもり）まで機会を作って飲みます。さて、語源ですが、中国の前漢後期の政治家で王莽（おうもう）が天下を取り、税の取り方を考えます。以前から塩・酒・鉄には税がかけられていましたが、効果が薄いので、キャッチフレーズならぬ御触れを出しました。御触れに曰く「夫れ、塩は食肴の将、酒は百薬の長にして嘉会の好なり。鉄は田農の本」

と、言うことで百薬の長の語源は税金の取立てから出た言葉でした。